

平成23年度 財 産 目 録

平成24年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘 定 科 目 ・ 概 要	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	手許現金有高	10,478	
普 通 預 金	北洋銀行 栗山支店	531,758	
	空知信用金庫 栗山支店	4,661	
未 収 入 金	23年度 toto助成金	3,321,000	
流動資産合計			3,867,897
2 固定資産			
建 物	事務所 内装工事	530,000	
車 輛 運 搬 具	マイクロバス 1台	4,710,880	
什 器 備 品	事務所内 備品一式	660,292	
固定資産合計			5,901,172
資産合計(A)			9,769,069
II 負債の部			
1 流動負債			
短 期 借 入 金	理事長 鈴木貴浩	6,950,000	
預 り 金	岩見沢税務署 源泉所得税	153,910	
流動負債合計			7,103,910
2 固定負債			
長 期 借 入 金	北洋銀行 栗山支店	1,833,000	
固定負債合計			1,833,000
負債合計(B)			8,936,910
正味財産(C) = (A) - (B)			832,159

平成24年 8月 31日

北海道知事 様

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ
代表者の氏名	鈴木 貴 浩 印
電話番号	(0123) 72 - 6655

事業報告書等提出書

次に掲げる前事業年度（23年 4月 1日から 24年 3月 31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の財産目録
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の収支計算書
- 5 前事業年度の役員名簿
- 6 前事業年度の社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

1 事業の成果

・クラブチーム運営事業

例年同様に各世代のサッカー競技に於ける技術力の向上及び目標や目的達成意欲の向上を主に、青少年の健全育成、スポーツを楽しみたい人達への生涯スポーツ育成に寄与する目的で行い、成立年度は各世代でのクラブチームの成績を含め地域の枠・壁を越えた成績を残せ、青少年の技術の向上及び目的達成意欲の向上が達成できたことは評価できる。しかし、サッカー競技という視野に立って考えたとき、地域の枠を超えて北海道の頂点にという目標や目的に向上心を導いていかなければ、過疎が進む空知地域のこども達の夢は夢で終わってしまうとあらためて感じた。この活動を継続し、さらなる飛躍にむけ邁進していきたい。中学生年代は北海道でのTOPリーグに参入しリーグ戦をしてきましたが、町単位で出場しているチームは我がクラブの栗山町のみでその他は大きな市から出場しており、この活動の意義を改めて確信し進んでいこうと思っています。そのリーグ戦でも見事に4位という成績を残し残留し次年度につながりました。クラブ組織の充実化・ハード面の充実化を図り地域すべて選手達が常に今以上に・・・という志がもてるような活動にしていきたいと考えています。

・スポーツの普及及び振興に関する事業

例年同様だが、我々のサッカーを中心とした活動から、今年度は独立行政法人日本スポーツ振興センターからの助成金を受け活動の充実を図りました。教育委員会・町のスポーツセンターとの連携で地域の低学年の体力向上を目的とした、子ども運動塾、高齢者の運動教室、赤ちゃんを育てるお母さん向けのベビーマッサージ、マラソンの定期活動を進めることができました。クラブにとって躍進した一年であった。今後は、事業の継続とあらたな種目の追加を進め多くの参加者を募っていきたくと考えています。栗山町のスポーツクラブ・総合型地域スポーツクラブ サンクススポーツクラブが地域や町に定着し、多くの町民から理解と協力をいただき、この町になくてはならない存在になれるよう頑張っていきたいと考えています。現時点では、突き進んでいる間は否めないの、町や町民のニーズの把握をし多くの方

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サッカーを中心とする、各スポーツ競技のクラブチーム運営事業	サッカークラブチームU-12(小学生)・U-15(中学生)・U-18(高校生)・TOP(成人)・レディース(女子)の技術指導及び運営管理	平成23年4月1日から平成24年3月31日	栗山町及び空知近郊地域	7	栗山町及び空知近郊地域の中学生・高校生・一般成人の男女91名	11,789,153
サッカーを中心とする、各スポーツの普及及び振興に関する事業	総合型地域スポーツクラブにおける、子ども・高齢者の運動教室・サッカースクール(幼児・小学生)・シニア(成人)の技術指導及び運営管理	平成23年4月1日から平成24年3月31日	栗山町及び空知近郊地域	7	栗山町及び空知近郊の幼児・小学生・一般成人の男女29名	3,426,130

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
スポーツ用品の販売事業	なし	なし	なし	なし	なし

平成23年度 特定非営利活動に係る事業に関する会計 貸借対照表

平成24年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘定科目・概要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金及び預金	546,897	
未収入金	3,321,000	
流動資産合計		3,867,897
2 固定資産		
建物	530,000	
車輛運搬具	4,710,880	
什器備品	660,292	
固定資産合計		5,901,172
資産合計(A)		9,769,069
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	6,950,000	
預り金	153,910	
流動負債合計		7,103,910
2 固定負債		
長期借入金	1,833,000	
固定負債合計		1,833,000
負債合計(B)		8,936,910
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		755,684
当期正味財産増加額		76,475
正味財産合計(C)		832,159
負債及び正味財産合計(B) + (C) = (A)		9,769,069

平成23年度 その他の事業に関する会計 貸借対照表
平成24年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘定科目・概要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
流動資産合計	0	
資産合計(A)		0
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計	0	
負債合計(B)		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	0	
当期正味財産増加額	0	
正味財産合計(C)		0
負債及び正味財産合計(B) + (C) = (A)		0

平成23年度 特定非営利活動に係る事業に関する会計 収支計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘定科目・概要	金額 (単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員	0	
賛助会員	0	0
2 事業収入		
クラブ・スクール収入	11,188,696	
大会・イベント・遠征会費	802,500	
その他収入	52,757	12,043,953
3 寄付金収入		
寄付金	1,391,920	1,391,920
4 補助金収入	9,811,000	9,811,000
経常収入合計(A)		23,246,873
II 経常支出の部		
1 事業費		
コーチ報酬	2,230,311	
車両経費	2,654,234	
その他事業支出	10,330,738	15,215,283
2 管理費		
給料手当	7,170,582	
法定福利費	616,638	
その他管理支出	167,895	7,955,115
経常支出合計(B)		23,170,398
経常収支差額(C) = (A) - (B)		76,475
III その他資金収入の部		
その他資金収入合計(D)		
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計(E)		
当期収支差額(F) = (C) + (D) - (E)		76,475
前期繰越収支差額(G)		0
次期繰越収支差額(F) + (G)		76,475
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
当期収支差額		76,475
増加額合計(H)		76,475
VI 正味財産減少の部		
減少額合計(I)		0
当期正味財産増加額(J) = (H) - (I)		76,475
前期繰越正味財産額(K)		755,684
当期正味財産合計(J) + (K)		832,159

平成23年度 その他の事業に関する会計 収支計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘 定 科 目 ・ 概 要	金 額 (単位:円)
(資金収支の部)	
I 経常収入の部	
経常収入合計(A)	0
II 経常支出の部	
1 事業費	
その他事業支出	0
2 管理費	
その他管理支出	0
経常支出合計(B)	0
経常収支差額(C) = (A) - (B)	0
III その他資金収入の部	
その他資金収入合計(D)	
IV その他資金支出の部	
その他資金支出合計(E)	
当期収支差額(F) = (C) + (D) - (E)	0
前期繰越収支差額(G)	0
次期繰越収支差額(F) + (G)	0
(正味財産増減の部)	
V 正味財産増加の部	
当期収支差額	0
増加額合計(H)	0
VI 正味財産減少の部	
減少額合計(I)	0
当期正味財産増加額(J) = (H) - (I)	0
前期繰越正味財産額(K)	
当期正味財産合計(J) + (K)	0